

第 40 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2009 年 11 月 21 日～23 日（金沢大学）  
セッション討議内容の記録

セッション名：防災計画（1）	
日付：11月23日（日）曜日、セッション時間：10：45～12：15	
司会者名（所属）：柿本 竜治（熊本大学政策創造研究教育センター）	
討 議 内 容	<p>セッション全体：</p> <p>3本の発表に共通しているのは、災害や防災の情報というキーワードであった。(207)については災害時の自助・共助を機能的に動かすための地域住民の個人情報の収集と管理・運用、(208)については住民の災害に意識への報道情報の影響、(209)について災害時の情報提供のあり方についてであった。そこで、全体を通して収集される情報の質や情報提供のあり方について議論がなされた。また、災害時のために個人情報を収集する場合に地域で目指す収集割合、マスメディアを用いて情報を提供する場合の情報提供の頻度やタイミングおよび目指す周知される対象者の割合、道路利用者への周知の割合など、社会の中で各情報を有効に機能性させるための目標等についても議論がなされた。</p>
	<p>(207) 臼井真人（所属）：三重大学大学院生物資源学研究科</p> <p>本研究では、防災訓練と訓練のための情報収集を通して、小規模集落における災害時の安否確認システムについて報告がなされた。質疑では、防災訓練で何が得られたか、自助・共助を行うにあたり住民への情報公開や行政との安否情報のやり取りの上での問題、および今後の展開について議論がなされた。</p>
	<p>(208) 金井昌信（所属）：群馬大学大学院工学研究科</p> <p>本研究では、マスメディアによる防災報道内容の違いが住民の防災に対する意識・行動に与える影響を把握するための情報提供実験結果について報告がなされた。質疑では、ワークショップによる情報提供の限界、アンケートのサンプル、情報提供実験時の情報の閲覧方法、実験後の効果計測の方法等について議論がなされた。</p>
	<p>(209) 高橋雅憲（所属）：石川県土木部都市計画課</p> <p>本研究では、能登半島地震後の道路交通情報等の災害情報に関するアンケート調査結果について報告がなされた。質疑では、現在の災害情報提供手段、タイミング、内容、国・県・市町村等の道路管理者の連携状況の実態やアンケート対象者の移動目的等について議論がなされた。</p>